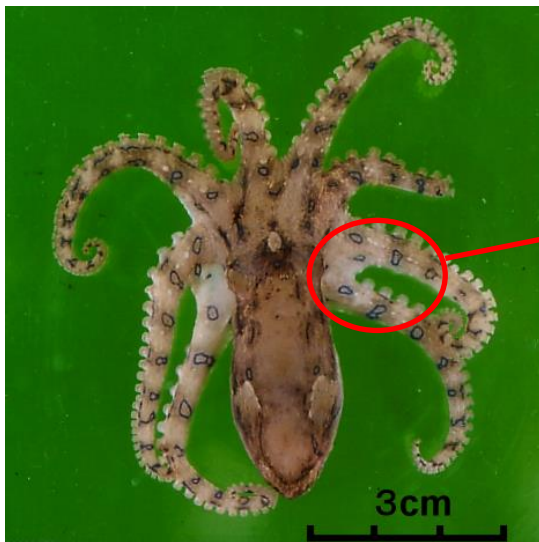


# ヒョウモンダコにご注意ください！

猛毒を持つ「ヒョウモンダコ」が毎年のように発見されています。昨年も平成27年6月22日に長門市の油谷湾などで採捕されました。

このタコは、フグと同じ猛毒のテトロドトキシンをもっており、噛まれると死に至る場合がありますので、漁で混獲された場合は、不用意にさわって噛まれないようご注意ください。

見つけた場合は、最寄りの水産事務所（振興局）または水産研究センターまでお知らせください。（①日時②場所③漁業種類等）



青い模様が特徴です。

## 【ヒョウモンダコの特徴】

- 本来、西太平洋熱帯域・亜熱帯域の岩礁やサンゴ礁に生息していますが、近隣の海岸でも確認されるようになりました。
- 体長は10cm程度で、刺激を受けると全身に青いリング模様が現れます。
- 唾液にフグと同じ猛毒のテトロドトキシンが含まれており、噛まれると呼吸困難や心肺停止を引き起こし、死に至る場合があります。

## 【連絡先】

水産研究センター外海研究部	0837-26-0711
下関水産振興局 普及振興班	083-266-2141
萩水産事務所 普及振興班	0838-25-3377